

は重しとて、嚴敷咎めて押返し、閉門に申行ひける。其御目付、あやにくも又周防守が番之節遅參して、暮六ツの大鼓打仕廻うて後に、西之丸寢番に登城しける。周防守、與力同心に下知しけるゆへ、通らんとしても聞入す、周防守へ通達しければ、中々聞入す役義を照して通らんとせば、後程いよ／＼重かるべしと、是非なく歸參して仲間へ達しければ、御役義、鹿相成とて御叱、御役儀被召放、閉門しける。

報怨以恩

〔書言字考節用集九〕ムラニ、アタニ、モツテ、ムラニ、ナ報前漢書、以德報恩、厚施薄望云々、老子怨子經、法苑珠林、鶴林玉露並宜照考、以恩前漢書、以德報恩、厚施薄望云々、老子

〔堪囊抄一〕世謠以恩報怨云、證據アリヤ、常爾云、サレ共論語或曰、以德報怨何如、子曰、何以報德、以直報怨、以德報德云、然共佛法又報怨以德爲善、以恩報怨、怨永亡、自他安穩、故若其證據ヲ云バ、昔天竺大貪王ト云王ヲ、ハジメテ其隣國王長壽王誅戮、長壽王長生太子ニ向テ云ク、我敵討コトナカレ、以怨報怨、怨互絶ルコトナシ、怨以恩報怨、永盡也トテ失給、長生太子父貴命去コトナレ共、正親敵ヲ不討シテハ、生タル甲斐ナシト思テ、身篋シテ種々ノ方便廻、大貪王取寄事ニフレテ命不違、隨逐給仕事人過タリシカバ、影如召具、一寸身不放、心安者ニゾ思ハレケル、或時長生太子膝ヲ枕ニシテ眠給ヒケリ、長生年比テラヒツル所、今已ニ成就スト悦テ、劔拔テ害セントスルニ、父遺言思出テ劔ヲ納メ、王寢覺テ云、我夢見様、長壽王子捕ヘラレテ殺サレントスト云、長生答テ云、此所山神怒リ祟歟、我アレバ何事カアルベキ、只能々休給ヘト云、王聽テ寢入給、又長生劔ヲ拔テ討ントスルガ、猶父遺言思テ、劔ヲサス、又驚テ夢語事如先、答事同、仍王又眞眠入、長生重テ劔ヲ拔ト云共、父遺命ヲ違ヘン事、長思直劔納ケリ、王又驚夢語事相同、其時長生申曰、我實長壽王子也、汝爲父討、憤不散、故日比伺ヒ討ントス、只今其隙ヲ得タリ、殺害セン事如思イナレ共、父遺命難忘シテ、劔ヲ納ムル事三度也、今我殺サン共心可任トゾ顯ハシケル、大貪王其時邪見ヲ翻シテ善心發シ、貪欲故汝父ヲ失ヒケル、怨以恩報ゼラル、眞孝養ナルベシ、今日ヨリ后、長生ヲ國王トスベシトテ、